

金 型

切削加工



●金型部品の製造・加工、鏡面加工装置の開発・販売

株式会社ヤマシタワークス

▶TEL: 06-4868-8477 FAX: 06-4868-8530

▶URL: <http://www.yamashitaworks.co.jp/>

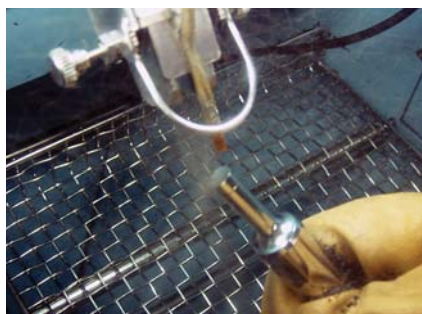
ここが
スゴイ!

微細な部分も新品同様の鏡面に磨き上げる 世界唯一の鏡面加工装置「AERO LAP[®]」を開発・販売

AERO LAP は、水分を含ませた食品成分にダイヤモンド砥粒を複合した研磨材 (Multi Cone) を高速で吹き付けることにより、金型や切削工具などの金属や義歯床 (入れ歯) やアクリルなどの樹脂表面を磨きあげる装置で、従来の機械加工や技能者による手仕上げでも難しい金属 表面の微細な溝や文字も新品同様によみがえらせることや鏡面仕上げが可能。また、熟練の技に頼ることなく、誰でも短時間の講習で技術を習得できる。『ものづくり日本大賞優秀賞』『発明大賞 本賞』を受賞。



AERO LAP



AERO LAP 作業状況



AERO LAP の効果。左が加工後



AERO LAP と新素材のハイブリッド杆

事業概要と躍進の契機

ビジネスを一気に拡大させた AERO LAP の製造・販売

家電や自動車の金型メーカーとして起業。金型の寿命を延ばし、再利用する方法を検討する中で、AERO LAP を開発し、大手企業から注目を集める。初期の装置は造幣局をはじめ、自動車、自転車メーカーに納入されたという。また、タイでも販売を開始。その後、タイ進出を果たす。

会社の強み・主力商品など

AERO LAP だけでなく新たな金属素材も開発

医薬品の錠剤の製造工程で使用される打錠杆のために開発した新素材「DSA」。これはオーステナイト系 SUS の 特長である耐食性と、マルテンサイト系 SUS の特長である高硬度を併せ持ち、防錆のためのメッキは不要。AERO LAP 加工をすることで、離型性も飛躍的に向上、打錠障害を大幅に減少する。さらに、金型の歪みを計測する高精度形状計測システム「AMS」も製品化し、自社製品のチェックはもとより、販売も行っている。

今後の事業展開

企業のグローバル化から航空機・宇宙開発分野を目指す

当面はタイ工場に再投資、アジアの製造拠点を強化しグローバル化を目指す。片手で簡単に取り出せる薬品包装の製品化にも取り組み (特許取得済)、医薬・医療分野でのさらなるビジネス拡大を図っていく。将来は、航空機や宇宙開発関連分野にも進出する予定。

●企業プロフィール

〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町2丁目6番18号

代表取締役 山下健治

創業:1986年(昭和61年) 設立:1989年(平成元年)

従業員数:63名

資本金:1,000万円

企業メッセージ

「挑戦と創造」を経営理念として、まずタイ工場の規模拡大と安定経営に取り組みつつ、AERO LAP とともに企業に磨きをかけてグローバル展開を目指したい。起業当時から失っていない情熱があれば、成功すると考えている。

代表取締役 山下健治

